

令和8年 第8回別海町教育委員会 会議録

- 1 開催日時 令和8年7月21日（火）
10時00分から10時32分まで
- 2 開催場所 別海町役場4階第2・3委員会室
- 3 出席者（4名）
- | | |
|------|---------|
| 教育長 | 相 澤 要 |
| 教育委員 | 河 原 宣 孝 |
| 教育委員 | 鈴 木 桃 子 |
| 教育委員 | 石 川 貴 工 |
- 4 出席職員（21名）
- | | |
|-----------|---------|
| 教育部長 | 田 畑 直 樹 |
| 指導主幹 | 稲 村 和 典 |
| 指導主幹 | 野 口 泰 秀 |
| 指導参事 | 瀬 川 航 平 |
| 教育部次長 | 角 川 具 哉 |
| 学務課主幹 | 木 幡 友 哉 |
| 学務課主幹 | 伊 井 崇 史 |
| 学校教育課長 | 橋 本 達 也 |
| 学校教育課主幹 | 戸 野 晶 雄 |
| 学校教育課主査 | 真 籠 美 香 |
| 生涯学習課長 | 立 澤 雅 彦 |
| 生涯学習課主査 | 松 本 芳 樹 |
| 生涯学習課主査 | 津 田 真太郎 |
| 生涯学習センター長 | 恒 川 敦 史 |
| 給食センター主幹 | 大 森 晴 海 |
| 中央公民館副館長 | 今 野 学 |
| 中央公民館主査 | 川 原 浩 貴 |
| 西公民館長 | 竹 中 利 哉 |
| 東公民館長 | 門 間 勝 司 |
| 図書館長 | 堺 啓 |
| 郷土資料館長 | 石 渡 一 人 |

5 議事日程 議案第1号 別海町教育事務執行の点検評価等に関する事業実績報告書の提出について

教育長
(相澤要君)

－【開 会】－

ただいまから、令和8年第8回別海町教育委員会議を開会いたします。

本日の出席者は4名です。

別海町教育委員会会議規則第5条の定足数に達しておりますので、会議の成立を宣言いたします。

開会にあたり私から一言御挨拶申し上げます。

本日はお忙しいところお集まりいただき、ありがとうございます。

また、学校訪問や研修会の出席などをいただきましたことに感謝を申し上げます。

さて、今年も小学生、中学生がスポーツの分野で活躍しています。

まず、小学生です。卓球少年団が東京で行われる全国大会に、バスケットボール少年団が帯広市で行われる全道大会に出場することになっています。

中学生は、先月から今月5日まで行われた中体連の管内大会の結果、団体でサッカー、男女の卓球、男子バレーボールが、個人で水泳、陸上、バドミントンが全道大会に出場することになりました。

本日の夕方、町長への表敬訪問があります。今後の活躍がますます楽しみです。

6月19日に東京の小学校で火災が発生しました。幸い命を落とす児童はいませんでした。が、一歩間違えば大惨事に至った極めて重大な事案です。

6月26日に行われた定例校長会議の際に、危機管理意識の徹底、複数の避難経路の確保、整理整頓の徹底の3点についてお話しし、子どもの命を預かっている責任の重さを、再確認しました。

それでは、本日の日程に入ります。

本日は、議案が1件です。よろしくお願いいたします。

－【前回会議録の承認】－

教育長
(相澤要君)

日程第2前回会議録の承認に入ります。

令和8年第7回の会議録につきまして、事前に各委員の皆様にも事務局から送付しておりますので、訂正御意見等がありましたら発言をお願いしたいと思います。

(「なし」の声あり)

教育長
(相澤要君)

なければ承認することとしてよろしいですか。

(「はい」の声あり)

教育長
(相澤要君)

第7回の会議録について承認することといたします。

－【報 告】－

教育長
(相澤要君)

日程第3報告に入ります。

6月3日に開催しました令和8年第7回教育委員会議から本日までの行事や実施事業等について、事務局から報告をお願いします。

はい、田畑部長。

教育部長
(田畑直樹君)

それでは、お手元の資料により抜粋して報告させていただきます。

第7回教育委員会議を開催以降、本日までの行事や実施事業等になります。

6月3日、むし歯予防ポスターコンクール表彰式が行われ、教育長が対応しております。

6月5日、北海道別海高等学校教育振興会総会が開催され、教育長および関係職員が対応しております。

飛びまして、6月26日、義務教育学校基本設計プロポーザル審査委員会が行われ、教育長及び関係職員が対応しております。

7月6日、大地みらい信用金庫から100万円の図書購入費の寄付があり、贈呈式が行われております。教育長が対応しております。

7月7日、別海町スポーツ選手後援会総会が行われ、教育長及び関係職員が対応しております。

7月15日、第61回北海道市町村教育委員会研修会が、7月17日まで行われております。ご出席いただいた委員の皆様、お疲れ様でした。

本日、第8回教育委員会議となっております。

報告は以上です。

－【議 事】－

教育長
(相澤要君)

それでは、日程第4議事に入ります。

議案第1号別海町教育事務執行の点検評価等に関する事業実績報告書の提出について、事務局から説明願います。

はい、木幡主幹から順次説明願います。

学務課主幹
(木幡友哉君)

議案第 1 号について説明いたします。

議案書 1 ページをお開きください。

はじめに議案本文を朗読します。

議案第 1 号別海町教育事務執行の点検評価等に関する事業実績報告書の提出について、別海町教育事務執行の点検評価等に関する第 3 条第 3 項の規定により、別紙のとおり点検評価委員に提出する。

本案につきましては、地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、実施するものです。

同法第 26 条第 1 項には、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない、と定められており、また同条第 2 項では、教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする、とされています。

このことから、別冊でお渡ししている令和 8 年度別海町教育事務執行の点検評価等に関する事業実績報告書を、6 月 3 日開催の第 7 回教育委員会議会で決定した、棚橋氏、山田氏、2 名の点検評価委員に提出し、点検及び評価を実施していただくとするものです。

なお、点検評価後は、その内容を取りまとめた報告書を作成し、議会に提出するとともに、町ホームページにより公表する予定となっております。

次に、令和 8 年度別海町教育事務執行の点検評価等に関する事業実績報告書をご覧ください。

5 ページまでは目次となっております。

続く、7 ページの点検評価結果一覧、及び 9 ページから 21 ページまでの各種会議実績については、説明を省略させていただきまして、23 ページ以降の各課事業実績報告書について、このあと担当ごとに順次説明させていただきます。

まずは、私から学務課総務担当所管事業について説明いたします。

25 ページをお開きください。

北海道別海高等学校教育支援事業です。

令和 7 年度も引き続き通学費助成、寄宿施設の助成、新 1 年生を対象としたタブレット購入助成などを実施しており、評価は A としています。

26 ページをご覧ください。

小・中学校閉校事業です。

令和 6 年度の中西別小、中学校に続き、令和 7 年度は西春別小、中

学務課主幹
(伊井崇史君)

学校が閉校となったことから、同校の閉校記念事業に対する補助を行っており、評価はAとしています。

学務課総務担当所管事業は以上です。

続きまして学校施設担当分の主な事業実績概要について説明いたします。

27ページと28ページになります。

小学校および中学校のコンピュータ整備事業についてですが、令和2年度に購入した児童生徒用のコンピュータが更新期を迎えたことから、国の公立学校情報機器整備事業補助金を活用して購入しています。

また一昨年の小学校に引き続き、昨年度は中学校教職員用のタブレット型パソコン端末を購入しています。

次に、29ページから45ページまでになりますが、各学校施設についてです。

中春別小学校の屋上防水改修工事については、北方領土隣接地域振興等事業推進費補助金を活用して行っております。

その他各学校におきましては、例年どおり各種保守点検や、必要に応じた小規模修繕を行い適正な施設管理に努めました。

なお評価につきましては、全ての事業実施済みとして丸を付しています。

以上で学校支援担当の概要説明を終わります。

学校教育課主幹
(戸野晶雄君)

それでは、学校教育課分について説明いたします。

学校教育担当分につきましては、48ページから51ページ上段の7事業、教育支援担当分につきましては、51ページ下段から、53ページの5事業となります。

この中から、今回は、49ページ下段のLet'sChallenge学習支援事業と、52ページの教育支援体制整備事業について説明いたします。

両担当分を一括で説明します。

はじめに、Let'sChallenge学習支援事業です。資料の49ページをお開き願います。

本事業は、子育て支援の充実のための保護者負担軽減、加えて町内児童生徒の自律的な学びの育成を図ることを目的として、漢字、算数・数学、英語検定の検定料の助成を行っており、令和7年度から上限回数を撤廃しています。また、令和4年度からは、国語、算数・数学、英語のタブレットドリルを導入しています。評価指標は、受検者数の実績によるものとし、令和7年度については、目標値750名に

生涯学習課主査
(津田真太郎君)

対し、584名の受検があり、目標を下回ったことからB評価としています。これは、各種検定の取得者が増加したことによる受験者の減少も影響したものと考えています。

次に、教育支援体制整備事業です。

資料の52ページをお開き願います。

本事業は、全ての教員が特別支援教育への理解と専門性を高め、支援が必要な子どもたち一人一人に適切な指導ができるよう、幼少期から一貫した支援体制を整えることを目的として、令和7年度に各小中学校に教育ソフトを導入しています。

評価指標は、継続利用以降アンケートの総合評価によるものとし、令和7年度については、目標値80%に対し、85.7%と目標を上回り、A評価としています。

以上で学校教育課分を終わります。

続きまして、生涯学習課の事業実施概要について説明します。

まず生涯学習担当分の事業につきましては、56ページ以降に記載をしております。A評価が8事業、B評価が2事業、C評価が2事業、その他として未評価が2件となっており、62ページに記載しております別海高等学校教育支援事業の海外研修派遣費補助事業につきましては事業未実施のため未評価となっております。

以上で生涯学習担当分の説明を終わります。

生涯学習課主査
(松本芳樹君)

続いて、生涯学習課社会体育担当分の事業実績報告について説明いたします。

63ページから76ページとなっています。

内容につきましては、スポーツ教室等のソフト事業が11事業、整備事業が5事業となっており、ソフト事業ではA評価が9事業、未評価が2事業となっています。

特にスポーツ教室等の事業はA評価となっており、ほとんどの教室において、前年度を上回る参加者数となっており、体を動かす機会等の需要が増えていると考えられます。

未評価の事業については、補助金の交付事業になっており、補助金の交付は行っていますが、評価は未評価とさせていただいております。

施設の整備事業は、町民温水プールの整備を含めて5事業を予定し、全事業とも実施済みとなっております。

以上で生涯学習課の説明を終わります。

給食センター主幹
(大森晴海君)

続きまして、学校給食センターの事業実績報告です。

79ページの学校給食費無償化事業についてです。

中央公民館主査
(川原浩貴君)

本事業は、物価高騰等による保護者の経済的負担が年々大きくなっていることから、経済的負担の軽減を目的に、町内の小学校及び中学校に在籍する児童生徒の給食費の無償化を図るものであり、令和6年度から実施してします。

令和7年度の1日あたりの給食提供人数は、1,462人であり、無償化対象者数は、1,063人でした。

また、給食メニューにつきましては、地場産食材を活用した給食を多く取り入れ、食育の推進を図ることや、行事食の提供により、季節に応じた様々な食に触れることができるように食事内容の充実を図っています。

以上で説明を終わります。

続きまして、中央公民館所管分の実績報告について説明します。

A評価が13事業、B評価が4事業、C評価が1事業、E評価が1事業となっております。

87ページをお開きください。

上段の公民館各種利用サービスの促進ですが、2024年度実績54,841人に対し、2025年度は48,315人となっており6,500人ほど減少していますが、2024年度はホールを利用したコンサート等の回数が例年よりも多かったことが要因であり、施設の利用件数は300件ほど増えています。また、目標値の38,000人を達成していることから、評価はAとしています。

次に、99ページをお開きください。

別海町少年少女下の句かるた大会ですが、かるたを通して、ルールと礼儀を学び青少年の健全育成を目的として、例年開催している事業となっておりますが、前年度よりチーム数が増加することができ、目標値に届いたことから今年度はA評価としております。

以上で中央公民館分の内容説明を終わります。

西公民館長
(竹中利哉君)

続きまして西公民館の令和7年度事業実績報告について説明いたします。

西公民館分の事業につきましては、104ページからとなります。

事業の内容につきましては抜粋して説明をさせていただきますが、113ページ下段、子どもまつりについてご説明をさせていただきます。

こちらにつきましては、毎年恒例で行っている事業でありまして、子ども会、ボランティアの皆さんなどを地域の方々の協力を得ながら開催し、地域おこし協力隊によるゲーム体験コーナーやドローン体験など、子どもたちが楽しめる催しの種類を増やし、内容の充実に

東公民館長
(門間勝司君)

力を入れて取り組み、参加人数こそ今年度は伸び悩みましたが、参加された子どもたちからは好評の声をいただいております。

説明が前後し、申し訳ございません、西公民館の令和7年度実施事業につきましては、20のソフト事業と、1つのハード事業合計21事業を実施し、実施後の評価につきましては、A評価16事業、B評価5事業となっています。

説明に戻りまして、事業の実施につきましては、今後も参加者のニーズに応える事業実施するとともに細かい部分ではありますが、新しいものを取り入れるなど、工夫して今年度以降も実施していきたいと考えております。

西公民館の事業実績は以上です。

次に、東公民館所管事業実績について内容説明いたします。

120ページからとなっております。

東公民館では、ソフト事業が16事業、ハード事業が1事業の計17事業を実施しております。

ソフト事業では、A判定が7事業、B判定が2事業、C判定が2事業、D判定が1、事業判定なしが4事業となっております。

C判定以下のものについて内容の補足説明させていただきます。

まず成人講座ですが、年々参加者が減ってきており、前年度につきましては5名の参加者で、これにつきましては今後、皆さんと意見交換しながら何をしていきたいかということで、お話を伺っている最中です。

地域文化祭のうち、チビッコ秋の集い、芸術文化鑑賞事業、子ども餅つき大会につきましては、インフルエンザ流行時期のために中止となっております。

異世代交流事業の中に、防災体験学習を計画しましたが、申込者が4名ということで、中止となりB判定となっております。

公民館まつりにつきましては、出演者不足のため中止したもので評価が難しいことから判定をしておりません。

最後に、ハード事業1事業ですけれども、東公民館改修事業につきましては、給水排水管改修工事を実施しております。

以上で東公民館事業の実績説明を終わります。

続きまして、図書館の事業実績について説明いたします。

令和7年度は、計22件の事業があり、ソフト事業16件につきましては、A評価が10件、B評価2件、C評価2件、評価なしが2件です。またハード事業は6事業すべてが実施となっています。

149ページをご覧ください。

図書館長
(堺啓君)

郷土資料館長
(石渡一人君)

お話会の実施です。新型コロナウイルス感染時期から落ち込んでいた参加者が徐々に回復傾向を見せ、昨年度192名だった参加者が令和7年度は561名となり、昨年度の評価Bから評価Aとしています。毎週金曜日に乳幼児向けに実施しているお話会ですが、令和7年度から毎月第3金曜日を英語で触れ合うお話会として実施しており、こちらも利用者の方からは好評をいただいています。

以上、簡単ですが実績報告についての説明を終わります。

続きまして、郷土資料館分について説明いたします。

令和7年度は、22件の事業があり、ソフト事業21件につきましては、A評価が8件、B評価が12件、C評価が1件、ハード事業1件が実施となっています。

内容につきましては、施設の一般公開、文化財保護保存整備事業、教育普及事業、資料整備と調査研究についての項目であり、おおむね当初の目標を達成しているものと判断しております。

事業については、1件説明いたします。

文化財担当の4ページ、175ページをお開き下さい。

西別湿原ヤチカンバ群落地保存整備事業です。令和6年2月21日に国の天然記念物に指定されたところですが、抜本的な保存事業を実施し、公開活用を図る必要があります。こうしたことから保存活用計画の策定を行うこととして、保護対策検討委員会を開催しております。

なお、保存活用計画の完成は令和8年度を予定しております。

以上で、説明を終わります。

生涯学習課
(津田真太郎君)

続きまして生涯学習研究所の事業概要について説明します。

ページにつきましては179ページ及び180ページとなります。

A評価が1事業、B評価が2事業、E評価が1事業となっております。

180ページ下段に記載しております、所報ふれット・研究紀要の発行につきましてはE評価としておりますが、令和7年度の実施内容としては、目で見える別海町の生涯教育～活用の手引き～を改訂し、各教育施設等へ配布を実施しております。

以上で議案第1号の説明を終わります。

教育長
(相澤要君)

議案第1号について内容説明が終わりましたので、御質問御意見等がありましたら、お受けします。

はい、石川委員。

教育委員

学校教育課のいじめ不登校問題対策事業について質問します。

(石川貴工君)	令和7年度の実績について、メール等の相談件数412件とありますが、増加傾向にありますか。前年度の実績がわからないので聞かせてください。
教育長 (相澤要君)	はい、戸野主幹。
学校教育課主幹 (戸野晶雄君)	実績としましては、同数程度です。
教育委員 (石川貴工君)	同数程度ということは、子どもの数は減っているなので、割合については、増えているということでしょうか。
学校教育課主幹 (戸野晶雄君)	また、相談内容は他の課とかとは共有したりしていますか。
教育長 (相澤要君)	はい。割合は増加傾向にあります。
教育委員 (鈴木桃子君)	相談については、必要に応じて関係機関と情報共有をしています。他に、ご質問ご意見等がありましたらお願いいたします。
教育長 (相澤要君)	はい、鈴木委員。
教育委員 (鈴木桃子君)	Let'sChallenge 学習支援事業についてお聞きします。
教育長 (相澤要君)	目標値が750名となっていますが、これは小中学校、高校も含めて実施されていることですか。
学校教育課 (戸野晶雄君)	はい、戸野主幹。
教育委員 (鈴木桃子君)	はい、こちらは、小学校、中学校の目標値になっております。
教育長 (相澤要君)	別海町の小中学校には、児童・生徒は何人いますか。
学校教育課 (戸野晶雄君)	はい、戸野主幹。
教育委員 (鈴木桃子君)	およそ1,000人です。
教育長 (相澤要君)	目標値が高いかなと思いました。私の娘は野付地区にいますが、結構検定を受けている子がいるので、B判定なのは目標値が高いのかなというふうに思いました。
学校教育課 (戸野晶雄君)	はい、戸野主幹。
教育委員 (鈴木桃子君)	1人に対して複数回、検定を受けられた場合でも、延べ数でカウントしているところになっているので、1人が例えば3回を受けた場合は3回、延べ人数となっています。
教育委員 (鈴木桃子君)	わかりました。
	ありがとうございます。

教育長 (相澤要君)	他に学校教育課についてご質問ご意見等ありましたらお受けいたします。
	なければ、その他の説明についてご質問ご意見等ありましたらお受けいたします。
	はい、石川委員。
教育委員 (石川貴工君)	生涯学習課 5 6 ページの学校・家庭・地域の連携協力推進事業についてなんですけれども、備考で補助事業の活用を進め検討していくと、あと関わり方を整理し、地域の要望を把握しと記載がありますが、判定がC評価なのは、事業数が少なかったからなのでしょうか。
教育長 (相澤要君)	はい、津田主査。
生涯学習課 (津田真太郎君)	はい、こちらの学校・家庭・地域の連携協力推進事業につきましては、目標値として掲げていたのが16件の各地域でのコーディネーターを通して何かしらの事業を行うというところで進めていたのですが、実際のところ地域コーディネーターの活動としましては、令和7年度が7件となっていましたので実績として、一昨年度3件に対して増えてはいますが、まだまだ目標としているところには達していませんでしたため、今回はCの評価とさせていただきます。
教育長 (相澤要君)	よろしいですか。
教育委員 (石川貴工君)	はい、石川委員。
	コミュニティスクールについてですが、各地域で事業を展開していると思いますが、他の地区のコミュニティスクールなどと情報交換は行われているのでしょうか。
教育長 (相澤要君)	はい、戸野主幹。
学校教育課主幹 (戸野晶雄君)	コミュニティスクールの各地区の情報共有につきましては、年に1回、各地区の代表を集めて、それぞれどういう活動をしたのかという情報共有を行う機会を設けておりまして、各地区への共有を図っています。
教育委員 (石川貴工君)	はい、ありがとうございます。
教育長 (相澤要君)	それではその他ご質問ご意見等ありましたらお受けいたします。
	はい、鈴木委員お願いします。
教育委員 (鈴木桃子君)	中央公民館、西公民館、東公民館の家庭教育学級セミナーについてなんですけれども、以前は多分、すすく学級だったのかなと思うのですが、お母さんたちの学習の場として、私はとてもよかったなと思って

教育長
(相澤要君)
中央公民館
(川原浩貴君)

教育長
(相澤要君)
教育委員
(鈴木桃子君)

教育長
(相澤要君)
中央公民館
(川原浩貴君)

教育長
(相澤要君)

教育長
(相澤要君)

教育長
(相澤要君)

教育長
(相澤要君)

教育長
(相澤要君)

教育長
(相澤要君)

いて、これを見るとすごく以前に比べて減ってしまっていて、お母さんたちの情報とかはどういうふうな状態になっているのかなっていうふうに思いました。

はい。

川原主査、お願いします。

家庭教育学級セミナーの件ですけれども、役場の福祉課に所管替えされたことから事業回数が大幅に減ったという要因があります。

よろしいですか。

福祉課が引き継いでいるという認識でいいですか。

はい川原主査。

はい。おっしゃる通りの認識で間違いないです。

その他、公民館事業について何かございませんか。

よろしいですか。その他ご質問ご意見があればお受けいたします。

(「なし」の声あり)

御質問等がなければ採決いたします。

議案第1号について原案のとおり可決することに御異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

異議がないようですので、議案第1号について原案のとおり決定することといたします。

－【その他】－

それでは日程第5その他に入ります。

事務局から何かありませんでしょうか。

(「なし」の声あり)

その他、委員の皆様からありませんか。

(「なし」の声あり)

それでは以上で、本日予定しておりました案件は全て終了いたしました。

これをもちまして令和8年第8回教育委員会議を閉会いたします。

皆様大変お疲れ様でした。

－【閉 会】－